

い

編集発行：池田市議会
住所：大阪府
池田市城南
1丁目1番1号
郵便番号：563-8666
TEL：072-752-1111
FAX：072-753-5414
[http://www.city.ikeda.
osaka.jp/](http://www.city.ikeda.osaka.jp/)

いけだ

No.160

いけだ市議会だより

平成30年(2018年)8月1日



花菖蒲まつり(水月公園にて)

5月臨時会 2

正副議長あいさつ

各委員会委員一覧 3

6月定例会 4

意見書 4

議決結果 5

一般質問 6

委員会レポート 11

議会日誌 12

やまばと 12

5月臨時議会

臨時議会は、5月17日に開会し、まず、市長から報告案件5件と人事案件1件が提出され、いずれも承認・同意しました。
その後、議長・副議長はじめ各委員会の委員等を選任し、閉会しました。
なお、議長・副議長、各委員会の委員については、掲載のとおりです。

就任の挨拶



議長
前田 敏



副議長
藤原 美知子

市民の皆様には平素から市政並びに市議会に対し温かいご理解とご協力をいただき、心からお礼申し上げます。

このたび私たちは、5月の臨時議会におきまして、第77代の議長・副議長に就任いたしました。もとより未熟で微力ではございますが、市民の皆様の信頼に応えるべく、全身全霊で取り組んでまいり所存ですので、よろしくお願い申し上げます。

さて、我が国の経済に目を向けますと、雇用・所得環境の改善が続くなど、景気は緩やかに回復しており、海外経済が回復する中で、輸出や生産の持ち直しが続くとともに、民需が改善し、経済の好循環が実現しつつあると言われております。また、政府は働き方改革

や一億総活躍社会の実現に向けた取り組みを進めておりますが、個人所得は伸び悩んでいると指摘されております。

本市におきましては、平成28年度一般会計決算では、16年連続の黒字決算となっておりますが、臨時財政対策債の発行など臨時的な財政措置によるもので、依然として構造的に脆弱な財政体質が続いております。今後につきましても高齢化の進展などに伴う社会保障関係費の増大などにより、厳しい財政状況が続くものと見込まれています。

このような状況ではありませんが、本年度は世界に誇れるインスタン・トラーメン誕生60周年の記念の年であるとともに、市制施行80周年に向けた準備の年でもあります。さらに、10月からは本市を舞台にNHKの連続テレビ小説「まんぷく」が放映されるなど、大きく注目を浴びることが期待されます。

目まぐるしく変化する社会経済情勢の中、これまで同様、市民の皆様側の側面を置き、議決機関としての機能を最大限に発揮してまいります。

どうか今後とも、市民の皆様方により一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

議会選出の監査委員に 浜地 慎一郎 議員

今回、議会選出の監査委員に、浜地慎一郎議員を選任しました。監査委員とは、地方自治法に基づき、市やその関係団体の予算執行や事務処理が正確に行われているかどうかを監視するのが主な仕事です。

本会議・委員会を 傍聴しましょう

本会議・委員会は誰でも傍聴できます。
本会議は、市役所4階傍聴席入口で住所、氏名を記入するだけで傍聴できます。
本会議を傍聴される方への手話通訳も行っておりますので、ご希望の方は、事前（概ね5日前まで）に議会事務局まで申し込んでください。
委員会は、傍聴席の関係で5人まで傍聴できます。
なお、5人を超えた時は、別室で音声聞くことができます。

常任委員会・議会運営委員会・特別委員会

常任委員会

◎委員長 ○副委員長 ()所属会派 議席順

総務委員会

定数6
(次員1)



◎小林 義典
(自民同友会)



○西垣 智
(自由クラブ)



ただ りゅういち
多田 隆一
(公明党)



ふじわら みちこ
藤原 美知子
(日本共産党)



わたなべ ちよし
渡邊 千芳
(市民クラブ)

文教病院委員会

定数6



◎馬坂 哲平
(公明党)



○倉田 晃
(自由クラブ)



はまち しんいちろう
浜地 慎一郎
(自民同友会)



みやけ まさき
三宅 正起
(市民クラブ)



しらいし けいこ
白石 啓子
(日本共産党)



まえだ さとし
前田 敏
(民社クラブ)

厚生委員会

定数5



◎山田 正司
(市民クラブ)



○富田 裕樹
(大阪維新の会池田)



こばやし よしみつ
小林 吉三
(日本共産党)



あらか まさみ
荒木 真澄
(公明党)



きのした かつげ
木下 克重
(自民同友会)

土木消防委員会

定数5



◎川西 二郎
(市民クラブ)



○石田 隆史
(大阪維新の会池田)



なかた まさのり
中田 正紀
(市民クラブ)



ないとう まさる
内藤 勝
(民社クラブ)



ほそい かおる
細井 馨
(自民同友会)

議会運営委員会

◎委員長 ○副委員長 議席順

定数	委員氏名
6	◎前田 敏 渡邊 千芳 ○藤原美知子 小林 吉三 荒木 真澄 浜地慎一郎

特別委員会

◎委員長 ○副委員長 議席順

委員会名	定数	委員氏名
空港・交通問題調査 特別委員会	10 (次員1)	◎内藤 勝 石田 隆史 ○中田 正紀 川西 二郎 小林 吉三 馬坂 哲平 倉田 晃 木下 克重 浜地慎一郎
まちづくり防災 特別委員会	10	◎多田 隆一 三宅 正起 ○富田 裕樹 白石 啓子 荒木 真澄 山田 正司 西垣 智 渡邊 千芳 小林 義典 細井 馨
市議会だより編集 特別委員会	7	◎内藤 勝 中田 正紀 ○白石 啓子 石田 隆史 西垣 智 小林 義典 多田 隆一

6月定例会

6月定例会は、6月4日に開会し、市長から報告案件3件と議案10件並びに人事案件2件が提出され、本会議及び委員会にて審議を行い、いずれも可決・同意しました。

6月25日・26日の継続会では、市民の声を広く市政に反映させるため、12人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

また、市長から提出された追加議案2件を審議し、いずれも原案どおり可決し、6月定例会を閉会しました。

葬祭場に 利用料金制度を導入

葬祭場に利用料金制度を導入するに当たり必要な事項を定めるため、葬祭条例の一部改正案が提出されました。葬祭場はこれまでから指定管理者が管理運営を行ってききましたが、今回、葬祭場使用者から徴収した利用料金を指定管理者の収入とする制度に変更することにより、指定管理者の努力次第で、増収を図ることができ、市としても指定管理料の減額や市職員の業務の軽減などが期待できます。

審議の中では、利用料金制度の

導入とあわせて、利用料金の減額や免除など、指定管理者に一定の権限の拡大が含まれており、市や議会のチェック機能が後退する。

また、市職員の業務の軽減は適切な人材配置により対応可能であり、容認できないとの反対意見がありました。

一方、本市の市営葬儀は低廉かつ質の高いもので市民のほこりである。また、利用料金制度の導入は指定管理者の自由度が増すものの、条例により一定の制限があり問題はなく、さらなる市民サービスの向上が期待できるとの賛成多数で、原案どおり可決しました。

くすのき学園新築工事 請負契約の締結

施設の老朽化や利用者数の増加が見込まれるため建てかえが必要となったくすのき学園は現在の所在地が第一種低層住居専用地域のため、現状より大きな施設への建てかえが困難です。そのため、移転、新設に伴う新築工事の契約議案が提出されました。

審議の中では、新施設内のレイアウトなどについて質疑があり、利用者数の増加が見込まれるため、延べ床面積を現在の2倍強にし、定員を増加させる上、新たに1階部分を重度重複障がい者にも対応できる仕様を考えているとの答弁がありました。

また、平成31年4月の開設に向けて、工事期間中は事故が発生しないように十分配慮するよう要望が出されましたが、結局、全会一致で可決しました。

意見書

6月定例会においては、次の意見書を採択し、関係機関に送付しました。

・国民健康保険財政調整交付金削減の減額制度の全面的廃止と子どもの医療費無料の制度化を求める意見書

永年勤続議員表彰

去る5月30日の全国市議会議員会総会において、木下克重議員が35年勤続特別表彰を、また、前田敏議長、川西二郎議員、山田正司議員、細井馨議員の4名が15年勤続表彰を受けました。



○市長提出議案及び議決の結果（5月臨時会・6月定例会）

議 案 名	議決の結果
専決事項の指定に係る処分報告について 専決指定第1号 損害賠償の専決処分について	報 告
処分報告について 専決第1号 池田市市税条例の一部改正について	承 認（全員異議なし）
処分報告について 専決第2号 池田市立幼稚園条例の一部を改正する条例の一部改正について	承 認（全員異議なし）
処分報告について 専決第3号 平成29年度池田市国民健康保険特別会計補正予算（第5号）	承 認（全員異議なし）
処分報告について 専決第4号 平成29年度池田市一般会計補正予算（第10号）	承 認（全員異議なし）
池田市監査委員の選任について	同 意（全員異議なし）
平成29年度池田市一般会計継続費繰越計算書について	報 告
平成29年度池田市一般会計繰越明許費繰越計算書について	報 告
平成29年度池田市一般会計事故繰越し繰越計算書について	報 告
池田市市税条例等の一部改正について	原案可決（賛成多数）
池田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決（賛成多数）
池田市葬祭条例の一部改正について	原案可決（賛成多数）
池田市立桃園墓地使用条例の一部改正について	原案可決（賛成多数）
五月山霊園使用条例の一部改正について	原案可決（賛成多数）
大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及び大阪広域水道企業団規約の変更に関する協議について	原案可決（全員異議なし）
池田市立くすのき学園新築工事請負契約の締結について	原案可決（全員異議なし）
池田市公平委員会委員の選任について	同 意（全員異議なし）
人権擁護委員の推薦に関する諮問について	同 意（全員異議なし）
平成30年度池田市財産区特別会計補正予算（第1号）	原案可決（全員異議なし）
平成30年度池田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決（全員異議なし）
平成30年度池田市一般会計補正予算（第3号）	原案可決（全員異議なし）
池田市市税条例等の一部を改正する条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
平成30年度池田市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決（全員異議なし）

○議会・議員提出議案及び議決の結果（5月臨時会）

議 案 名	議決の結果
議長辞職の許可について	許 可（全員異議なし）
議長の選挙について	終 結
副議長辞職の許可について	許 可（全員異議なし）
副議長の選挙について	終 結
議会運営委員会委員の選任について	選 任（全員異議なし）
常任委員会委員の選任について	選 任（全員異議なし）
常任委員会委員長の選任について	選 任（全員異議なし）
常任委員会副委員長の選任について	選 任（全員異議なし）
大阪府都市競艇企業団議会議員の選挙について	終 結
特別委員会委員の選任について	選 任（全員異議なし）
特別委員会委員長の選任について	選 任（全員異議なし）
特別委員会副委員長の選任について	選 任（全員異議なし）



一般質問は、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などを質問するもので、定例会に限って行います。今回は12人の議員が市政全般について、市長及び関係部署の考えをたずねました。主な内容は次のとおりです。

(一般質問の内容については、質問議員各自の原稿によって編集しています。)

問 人口減少社会にあった池田市の都市整備を

(市民クラブ)

池田市は13万人から15万人の人口を充足させる都市整備がなされているが、今後の人口減少の中、8万人から10万人の都市整備を行うべきである。市有地の売却や施設の統廃合を不転の思いで進めていけるのか。

答 将来に向けた都市整備を速やかに

2040年の池田市の人口は約8万4千人と推定されている。公共施設等を現状規模で維持した場合、2055年に一人当たりの負担額が現在の2.5倍になる。現有施設の集約や複合化などを市民と課題共有しながらスピード感を

持って順次行っていく。

問 指定管理者制度の見直しについて

(自由クラブ)

池田市公共施設管理公社に関する検討委員会報告書を受けて、制度全体を見直す機会と考える。今後の指定管理者制度の活用について見解を問う。

答 税理士との連携を進め改善を図る

21施設の指定管理者選定に入る今夏に向けて、経営状況の正確な把握を目的に、地元税理士会と連携を進めており、その効果も踏まえ、次の段階を模索する。

問 地域分権制度で地域構想の策定は

(自由クラブ)

より有意義な予算提案につなげるためには「地域構想」「地域実施計画」の策定が重要。計画策定に向けた今後の予定は。

答 第7次総合計画に合わせ進める

テーマパーク構想も踏まえつつ、第7次総合計画の策定に合わせ、計画策定に向け取り組む。

問 簡易ベビーカーのレンタルサービスの実施を

(公明党)

小さなお子様を持つ方からレンタルベビーカーのサービスがあれば助かる、との声を多く聞くが見解を問う。

答 利用状況や他の事例等を含めて検討

観光案内所がリニューアルオープン予定であり、その後の利用状況や他の事例等を含めて検討。



問 池田駅前に大型モニターを設置し賑わい創出

(公明党)

ドローンを使って空中撮影をした動画を池田駅前で配信する等、観光客が増える取り組みが必要では。また、五月山の夜景を中継すれば大きなアピールになるが。

答 動画配信は大変効果的で魅力的な手段である

昨年、五月山動物園、城跡公園や細河地域を上空からドローンで撮影した画像があるので、それを池田駅前前のゲストインフォメーションに活用していく。

問 池田版DMOの進捗状況について

(大阪維新の会池田)

池田版DMOは補助金に頼らない「自立自走できる組織」が目標。その進捗状況を問う。

答 可能な限り収益を生み出し自立自走をめざす

池田版DMOは、3カ年事業の最終年度。全国的に完全自立の組織は少ないが、収益事業を実施し、検証し、収益の確保をめざす。

一般質問議員

今回一般質問を行った議員は、次のとおりです。

1	小林吉三	(日本共産党)
2	富田裕樹	(大阪維新の会池田)
3	荒木眞澄	(公明党)
4	石田隆史	(大阪維新の会池田)
5	中田正紀	(市民クラブ)
6	倉田晃	(自由クラブ)
7	白石啓子	(日本共産党)
8	浜地慎一郎	(自民同友会)
9	藤原美知子	(日本共産党)
10	馬坂哲平	(公明党)
11	小林義典	(自民同友会)
12	渡邊千芳	(市民クラブ)

(※質問順)

問 池田市国際交流センターについて

(自由クラブ)

開設2年半が経過した国際交流センターの取り組みと評価は。

答 在住外国人支援事業等に
取り組み

外国人支援事業を初め、日本人も含めた市民向けのイベントなどを実施してきた。毎週実施の外国人が対象の日本語教室は、参加者が順調に増加。今後も外国人・日本人がともに参画できる事業を実施し、利用者の拡大を図る。

問 開校3年目ほといつ学園のさらなる改善を

(日本共産党)

毎日使用する運動場と体育館の放送設備の改善と、湿気の多い日が続く中、結露や雨漏り、カビ対策の進捗状況について問う。

答 学校と調整を行い
改善に努める

放送設備の改善について、体育館は現在改善に向けて学校と調整中。運動場は、学校からの要望を踏まえて、改善に努める。結露対策は有効手段となる断熱工事を予定している。構造上の雨

問 新学校給食センターについて

(自民同友会)

の吹き込みや、一部雨漏りの改修及び屋外の滑りどめの設置や湿気対策のために換気扇設置を実施する予定。工期は2カ月を見込んでおり、学校運営に影響が出ないよう、夏休みを中心に予定。

国の平成29年度補正による交付認定がなされず、着工が延期されている。財政上の都合もあり一年延期される模様である。学校給食センター設置工事に係る今後の展望及び建築資材など、社会情勢の動向に資するコストアップなどに對する懸念は。

答 多様な活動で
取り組んでいく

新学校給食センターについては、国に改めて補助申請を行っており、平成30年度補正での補助採択に期待する。しかし、国の公立学校施設整備予算は、平成27、28年度に2千億円強あったものが、29年度は1300億円になり、メニューも防災・減災に重点を置く予算配分となった。よって、全国市長会において特別決議された緊急要望を携え、自由民主党の学校耐震化施設整備等促進議員連盟、公明党

問 スポセン改修工事の
工期と内容について問う

(市民クラブ)

改修工事の工事内容と市民が影響を受ける期間について問う。

答 実施設計に向けた
調整を行っている

耐震補強を含めた全面的なリニューアルの実施設計を作成中。工期等については未定であるが、平成31年度中は工事期間として予定しており、詳細が判明次第、告知をしていく。

問 中学校の団体部活動の今後について問う

(市民クラブ)

市内中学校の団体部活動の部員数不足問題について、廃部・休部にならない方法について問う。

答 合同部活動の取り組みを検討

生徒のスポーツ活動の機会が損なわれることがないように、今後池田市の現状を鑑み、複数校の生徒が拠点校の運動部活動に参加する等、合同部活動等の取り組みを検討していく。

問 池田の教育の核「生き抜く力」をどのように

(公明党)

道徳教育、キャリア教育、環境教育の推進で「生き抜く力」を身につけることが重要と思うが。

答 「確かな学力」の定着と人間力の向上を図る

教育委員会と市長部局が一体となって、池田の子どもたちのために諸課題に全力で取り組む。

問 LINEを活用した相談体制の導入を

(公明党)

最近の若年層の用いるコミュニケーション手段は、SNSが圧倒的な割合であることから、特にLINEを活用した「いじめ・自殺等の相談体制」の導入を。

答 今後の必要性について検討していく

SNSを活用した相談体制については、国によるモデル事業や幾つかの地方公共団体における取り組みの成果や課題を分析し、市内の状況を判断した上で、今後の必要性について検討していく。

問 登下校時の子ども見守り活動について

(自民同友会)

登下校時の通学路の見守り活動について、学校、教育委員会の見解を問う。また、子ども見守り隊との連携協力は今後どのように考えているのか見解を問う。

答 各学校の安全見守り活動拡充を支援していく

子どもが安全・安心に登下校するためには、教職員や保護者、地域の大人などによる見守り活動が

最も効果的であると考えている。

子どもに対する声かけ事業は登下校時に多いことから、見守り活動により地域の大人の目をふやすことは、犯罪の抑制にもつながるものと認識している。また、今後の教育委員会との連携については、子ども見守り隊の設置趣旨並びに組織体制を考慮して、可能な範囲で模索していく。

問 プログラミング教育の進め方について

(自民同友会)

実際の授業では、どのような教科で、どのような方法を用いて行われていくのか問う。

答 論理的思考の育成をめざした授業に取り組み

プログラミング教育の実施に当たっては、学習指導要領に例示されている算数、理科、総合的な学習の時間等に加え、多様な教科・単元等で工夫して取り入れていくものと考えている。例えば、ロボットプログラミング学習等を通して、自分の考える動作の実現をめざし、試行錯誤を繰り返しながら論理的思考の育成をめざしていく。

問 一人暮らしの高齢者を支えるための対応策は

(公明党)

一人暮らしの高齢者の方を支えるための、地域社会との交流が図られるような環境整備並びに対応策について、見解を問う。

答 新たな仕組みづくりに ついても検討

今後、地域づくりの一環として、見守りや居場所づくり、相談支援体制の構築など、新たな仕組みづくりに ついても検討していく。

問 敬老の里プロジェクト市民に知らせ声聞いて

(日本共産党)

プロジェクトが市民に知られていない。敬老施設のほか公園や市営住宅・保育所・花園会館・やまばと学園など市民に影響が大きい施設が含まれる。市民に広く知らせる声を反映した計画を作るべき。市有地売却は安易にすべきでない。

答 現在は基本構想策定中

節目節目で市民に知らせる。基本的には公園は移動しない、保育所を無くすのが前提ではない。

問 子育て支援へ子どもにかかわる
国保料軽減を

(日本共産党)

国保料は組合健保等と違い均等割で子どもがふえれば保険料が上がる。都道府県化となったが、子どもにかかわる保険料軽減を独自で行う市がふえている。本市でも子育て支援へ制度導入を求める。

答 市独自でなくオール大阪で

この6年間で、府内統一を行っていく。府全体の中で取り組む。

問 障がい者と健常者が
仕事を通し理解し合える

(市民クラブ)

障がい者が一定の賃金を確保してもらえないように就労支援A型や就労移行の事業が活躍しているが、一般就労や特例子会社により働けるようになれば仕事を通して健常者が障がいを理解できるので、推進してもらえないか。

答 第5期池田市障害者計画に
基づき推進する

最低賃金を保障される就労支援A型は福祉サービスの一環でもあり、利用者が急増しているが、障がい者が一般就労や特例子会社な

どにより働けるようになれば、共通の仕事を通して健常者が障がいを理解できると考えている。第5期池田市障害者計画で取り上げており、今後推進に努める。

問 医療費助成の拡充
児童扶養手当は毎月支給に

(日本共産党)

子どもの医療費助成は、北摂では箕面市、摂津市、豊能町、能勢町ですでに18歳まで拡充しており、豊中市も実施を約束している。池田市も、他市のようにふるさと納税の活用を含め、18歳までの医療費助成を実施してはどうか。

児童扶養手当は4カ月に1度の支給で計画的な生活設計がたてられない。毎月支給にしてはどうか。

答 18歳までの医療費助成は
近い将来検討したい

子どもの医療費助成は、本来国が制度化すべきだが、流れは来ており市も検討しなければならぬ。財源の捻出など、詰め作業を1〜2年検討させていただきたい。

児童扶養手当は、来年、国が2カ月に1度へと法改正をする予定だが、特定の対象に絞り必要なところに毎月支給できるか、社協とも連携をとりながら検討したい。

問 大切な輸血医療を支える
献血を若い人達にも

(公明党)

緊急手術は誰もが受ける可能性があるが、夏場や冬場には深刻な血液不足に陥る。若い人にも献血の大切さを認識してもらう必要があると思うが。

答 各学校のPTA、イベント等で
PRを

宣言高校では16歳の献血等に取り組み、立派な成果を上げている。他の高校でも同様の取り組みができないか、また学校のイベントでのPR等を検討していく。

問 テーマパーク構想の
テーマ選定について

(大阪維新の会池田)

健康な状態で長生きしたいということは、多くの人々にとって共通の願いである。世界に先駆けて超高齢社会を迎えている日本では、国民が健康な生活と長寿を享受できる健康長寿社会の実現が急務となっている。日本再興戦略においても「国民の健康寿命の延伸」が掲げられており、国民(市民)の健康寿命を伸ばし、健康づくりに寄与することが重要なテーマとなっている。そうした課題を後押し

する政策として、総務省・厚生労働省・文部科学省の支援のもと、健康ポイント制度がスタートした。また、スマートウエルネスシティ総合特区も設けられた。現在、池田市においても高齢化が進み、市民の多くの方が「明るく楽しく健康に過ごしたい」と希求していることが推察できる。よって、テーマパーク構想のテーマを「健康(健康)」に設定し、健康ポイント制度や政府の制度を活用しながら市民の健康を後押しすることで、まちの活性化とまちづくりを図ることをお薦めするが、見解を問う。

答 みんなまとめて
テーマパーク構想

テーマパーク構想は、市民一人一人が夢を描きまちづくりに参画していただくことが重要。そのためには、市民が健康であることが重要。テーマの一つとしてではなく、健康づくりの促進や健診受診率の向上を図ることで、市民参画が促され、まちの活性化につながるものと考えている。



問 自転車レーンの整備とサイクリストの支援

(大阪維新の会池田)

スポーツサイクルを楽しむ愛好家が増えた。彼らを観光客とすべく、その支援と歩行者の安全対策について問う。

答 自転車レーンを拡充し歩行者の安全に努める

歩行者の安全対策を優先し、整備を進める。サイクリストを初め、マラソンなどを行う方々への支援の可能性を検討する。

問 住宅リフォーム助成制度の実施を

(日本共産党)

住宅リフォーム助成制度は、仕事おこしで街を元気にと、600を超える自治体が事業を行っている。宝塚市では高齢者のいる世帯に助成を実施している。本市でも高齢化が進む中、高齢者がいつまでも元気で、楽しく生活ができるように住宅内の階段の手すりや、段差の解消などが必要。高齢者に優しい助成制度の実施を求める。

答 実施を検討していきたい

高齢世帯が元気で、笑顔でそ

の地域で住み続けられるためには、助成制度を検討していくべきと考えている。

問 本市の民泊の現状と住環境を守る取り組みを

(日本共産党)

民泊営業を届出制とする法が施行。特区民泊含む現状は。住環境を守るため民泊規制条例の検討を。

答 届出・特区民泊はゼロ影響等について注視

特区民泊はホテル・旅館建設可能地域で営業可能。住宅宿泊事業法の民泊は市内で0件、府が届出・問合せ窓口となる。規制条例は府が制定できるが予定されてない。

問 空き家対策特別措置法と民泊新法について

(大阪維新の会池田)

空き家対策の現状と本市の民泊施設数について問う。

答 空家等対策計画を策定し積極的な指導を実施し

法令施行後、本年3月には所有者のいない倒壊を危惧する空き家に対して略式代執行を実施した。また、5月に空家バンク制度を実施し、空き家と利用希望者のマッチング事業を開始。空き家流通を

促し、特定空家の発生抑制に努める。本市における届出住宅は0軒。違法民泊も現在報告はない。

問 ホームドアの設置で石橋駅利用者の安全を

(日本共産党)

石橋駅はカーブの途中に駅があり、視覚障がい者だけでなく子どもや高齢者にも危険な駅の一つ。転落防止のため、ホームドアの設置と隙間を埋める可動式ステップの早期設置を求めている。池田、石橋の安全策を

答 池田、石橋の安全策を市として正式に求める

地元要望の工事は財政負担が伴うため、国交省の安全対策も懸案し、阪急電鉄として池田駅・石橋駅の将来展望、安全策について答えていただくよう申し入れた。



問 生産緑地制度の面積要件緩和について問う

(市民クラブ)

農業従事者の懸案事項である生産緑地制度の改定に伴い、面積要件の緩和を各市町村で条例制定ができることとなったが、池田市での取り組み・検討について問う。

答 面積要件緩和に向けて条例制定を検討

面積要件の緩和に向けて検討を予定。条例制定時期とあわせて、農業委員会への周知と市ホームページ等で周知を図っていく。



委員会 レポート



6月定例会では、10件の議案を、市議会に設置している常任委員会に審査付託し、細部にわたり慎重に審査しました。

6月25日の本会議では、各委員長が審査の結果報告を行い、市長から提出された10件の議案はいずれも原案どおり可決しました。

各委員会での審査の主な内容は、次のとおりです。

総務委員会

給与所得控除等の変更に よる各種保険料への影響は

《市税条例等の一部改正》

問 今回の提案の一つに、働き方の多様化を踏まえ、いわゆる働き方改革を後押しする観点から、給与所得控除及び公的年金等控除をそれぞれ10万円引き下げるとともに、基礎控除を同額引き上げる改正がある。

これは、所得金額に基づき、算定基準が定められている国民健康保険料や、介護保険料等に影響が及び、ひいては市民生活にも影響が及ぶのではないかと考えるが、見解を問う。

介護保険料は影響があるため 国の動向等を注視していく

答 国民健康保険料及び後期高齢者医療保険料については、所得金額から基礎控除を差し引いて、基準額を算出するため、影響は及ばないが、介護保険料は、基礎控除を差し引く前の合計所得金額に基づき基準額を算出するため、現行のままでは一定の影響が及ぶことになる。

しかし、本規定は、平成33年1月から施行のため、何らかの対応

策が講じられるか福祉部門とともに、国の動向を注視していきたいと考えている。

文教病院委員会

学校給食センター建設工事の 今後の見通しは

《一般会計補正予算》

問 学校給食センター建設工事の今後の見通しについて問う。

また、開業が1年遅れることになるが、子どもたちに対し何か配慮を行うのか。

平成32年4月の開業が目標

答 給食センターを含む学校施設整備助成の拡充については、大阪府市長会、近畿市長会及び全国市長会において特別決議を行い、国に要望するとともに、本市の学校給食センター建設工事についても、平成30年度の国の補正予算に採択されるよう鋭意陳情活動を行っているところである。

採択されれば平成31年4月から建設工事に着手し、平成32年4月の開業を目指したい。

また、平成31年4月から新しい学校給食センターとなり、温かい給食が運ばれることを楽しみにしていた子どもたちのために、保護

厚生委員会

支援員の資格要件緩和で 問題が発生するのは

《放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正》

問 放課後児童健全育成事業の運営に従事する支援員は、現行条例において一定の専門性が担保されている。今回の改正で資格要件が緩和されると、支援員の資格不要論につながり、当該事業の運営面で問題が発生するのではないかと危惧するが見解を問う。

資格取得には経験等が必要 事業の質の維持に万全を期す

答 今回の条例改正により、支援員の資格要件を緩和するが、新たに加えられる資格要件は、当該事業に補助員として5年以上従事し、その勤務態度等が良好で、かつ、都道府県知事が実施する支援員研修を修了しなければならぬ。

また、支援員に採用後も、定期的な研修等を開催し、事業の質の維持に努め、問題が起らないように万全を期していく。

土木消防委員会

テーマパーク構想と 今回の実証実験との関係は

〈一般会計補正予算〉

問 テーマパーク構想において、伏尾台エリアでは、コミュニティバス等の活用によるエリア交通の構築をうたっているが、今回伏尾台地区で実証実験が行われるシェアリングエコノミー事業との関係について問う。

実証実験でニーズ等を調査 その結果を踏まえ検討する

答 今回のシェアリングエコノミー事業の実証実験においては、伏尾台地区での地域内輸送にどれだけのニーズがあり、来年度以降も継続的で持続可能な事業であるかを検証するものである。

その結果、持続可能な事業であると判断されれば、区域内においてはシェアリングエコノミー事業を活用し、区域外への移動についてはコミュニティバスやデマンドタクシー等での補完といった形も検討していきたいと考えている。

議会の予定

9月定例会は、次の日程で開催する予定です。本会議・委員会はいつでも傍聴できます。開会は、いずれも午前10時からの予定です。(定員あり)

9月 5日(水)	本 会 議
9月 7日(金)	委 員 会
9月10日(月)	委 員 会
9月11日(火)	委 員 会
9月12日(水)	委 員 会
9月25日(火)	本 会 議
9月26日(水)	本 会 議

議 会 日 誌

4月	4月12日	各派代表者会議
	4月24日	各派代表者会議
5月	5月14日	各派代表者会議 議会運営委員会
	5月17日	市議会臨時会 各派代表者会議 議会運営委員会
6月	6月4日	市議会定例会 市議会だより編集 特別委員会
	6月11日	土木消防委員会
7月	7月10日	市議会だより編集 特別委員会
	7月13日	市議会だより編集 特別委員会
	7月23日	まちづくり防災 特別委員会 空港交通問題調査 特別委員会
	6月26日	市議会定例会 議会運営委員会
	6月25日	各派代表者会議 議会運営委員会
	6月15日	総務委員会
	6月13日	文教病院委員会
	6月12日	厚生委員会

やまばと

市民の皆様には、日頃から池田市議会の活動に対しご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

5月の臨時会で役員改選が行われ、正副議長を初め、常任委員会、特別委員会を含めた平成30年度の議会構成が決定いたしました。

市議会だより編集特別委員会も今回から新たなメンバーとなり、心機一転、よりわかりやすい紙面づくりに取り組んでまいります。

今後も「いけた市議会だより」をご愛読いただきますよう、よろしくお願いたします。



市議会だより編集特別委員会

委員長	内藤 勝	委員長	多田 隆一
副委員長	白石 啓子	委員	中田 正隆
委員	西垣 智典	委員	田中 隆
委員	小林 義典		